

令和3年3月24日  
四国電力送配電株式会社

## A I を活用した営巣検知システムの導入について

このたび当社は、停電の一因となる配電設備上のカラスの営巣を自動的に発見するため、A I による画像認識を活用した営巣検知システムを導入することといたしました。

カラスの営巣には、樹枝や金属製のハンガーなどが使われることがあり、これらが高圧線に接触した場合に停電の原因となります。このため当社では、停電防止に向けて定期的に巡視を行い、巣の早期発見・撤去に努めておりますが、カラスの巣は撤去した後も繰り返し作られるため、大きな課題となっております。

本システムは、こうした課題解決のため、A I に関する豊富な知見を有するエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社とともに平成30年から開発を進めてきたものです。

具体的には、車やバイクに搭載したカメラにより走行しながら電柱等の配電設備を撮影し、取得した画像をA I \*が瞬時に分析することで営巣を発見するとともに、リアルタイムで撤去指示者へメール通知を行うものです。これにより、停電防止対策の迅速化や巡視業務の効率化が実現できます。

本システムは、まず香川県、愛媛県内の一部事業所において導入し、その結果を評価したうえで、順次、導入する事業所を拡大していくこととしております。

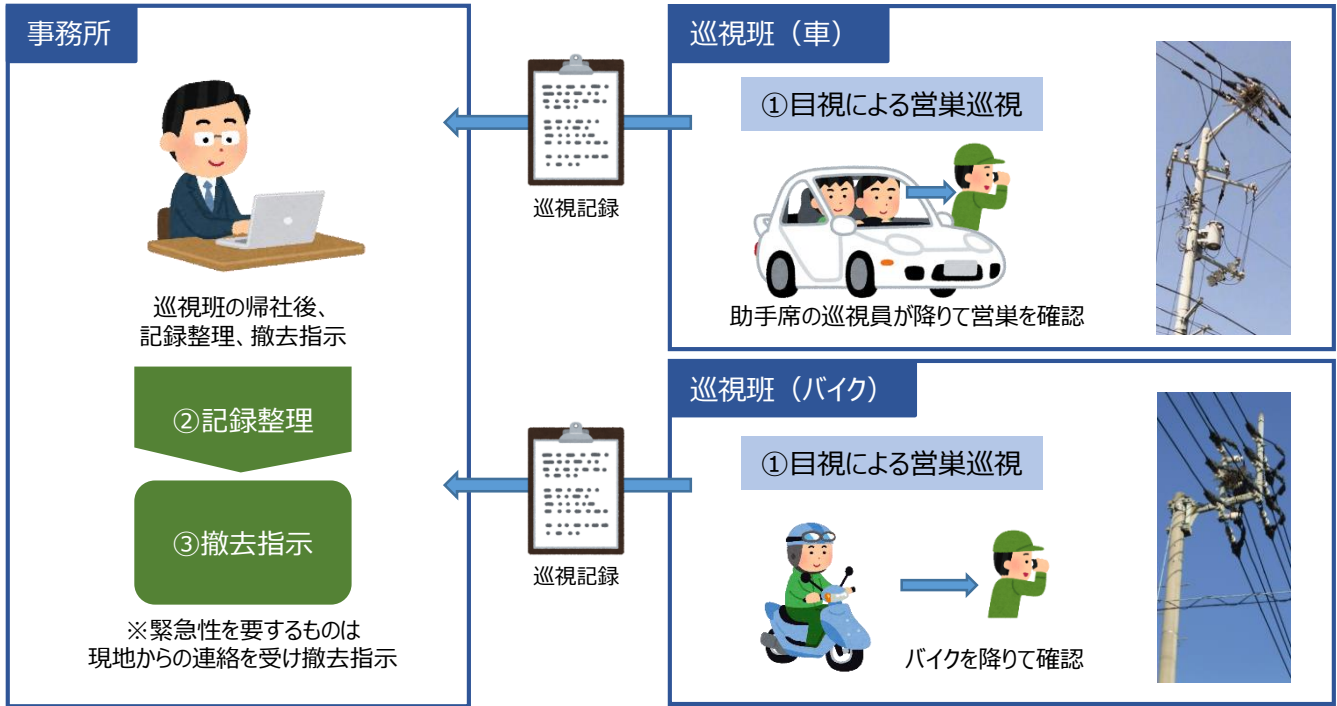
当社としては、今後ともA I 等の新技術に関する知見を電力の安定供給維持に活用するとともに、様々な社会的課題の解決に向けて、送配電ネットワーク設備の新たな価値創造に繋げてまいります。

※エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社が提供する画像認識 AI サービス「Deeptector® (同社の登録商標)」を採用

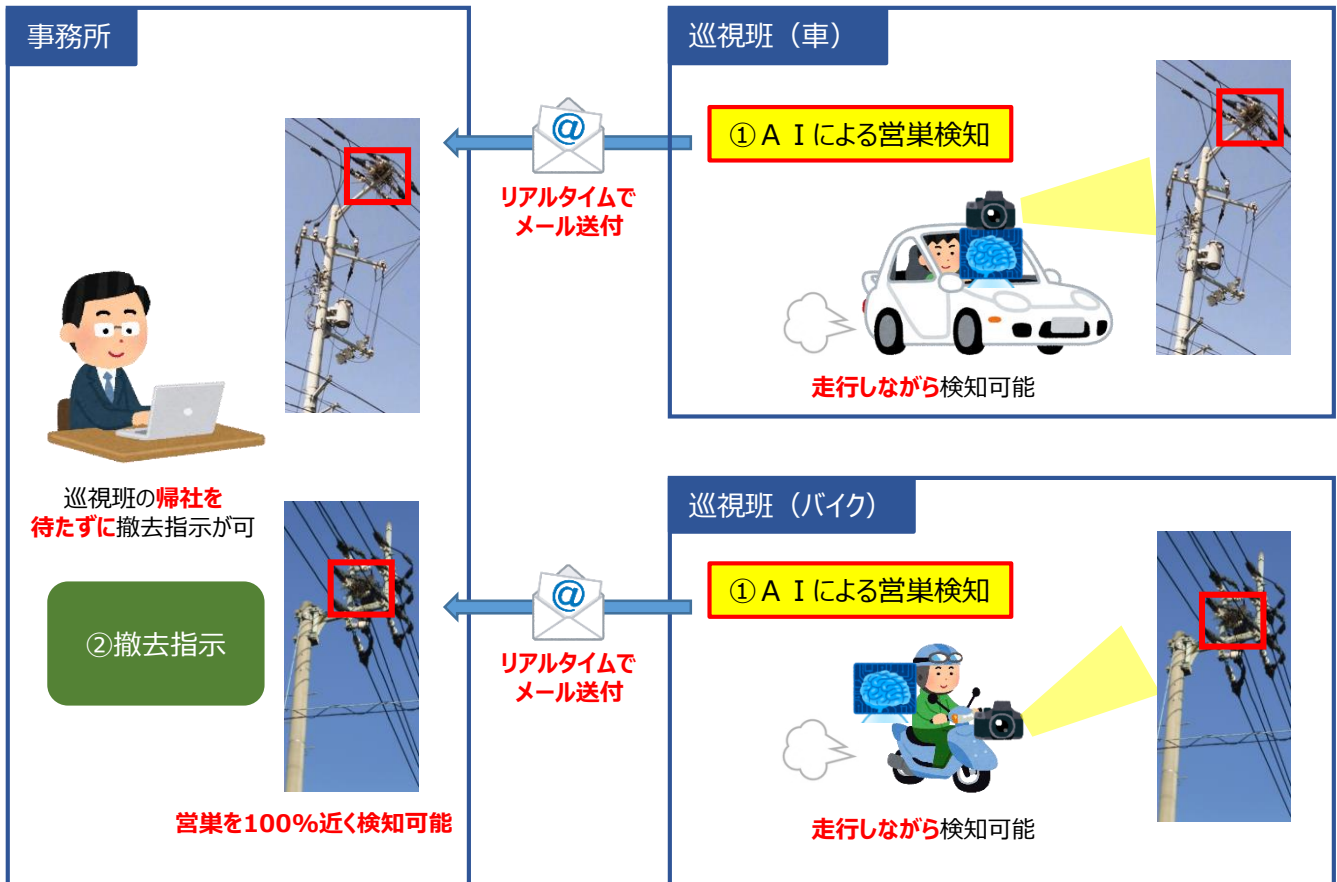
(別紙) A I を活用した営巣検知システム 業務実施イメージ

以 上

【従来の業務実施方法】



【A I 活用によって期待される業務実施イメージ】



A I により営巣を検知し、停電防止対策の迅速化および巡視業務の効率化を実現